

テクノロジーとイノベーションの高度な体験

中国石油大学学生代表

見学日時：2024年12月4日（水） 9:30-11:30

見学場所：ソニー

見学概要

ソニーでは、まず徐団長から彼のソニーとの深いつながりについて紹介があり、私たちは個人的経験という角度からソニーについて大まかに知ることができた。次いで中国総代表室の馬シニアマネージャーから、1946年5月の設立以来、「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす」とのパーパスの下、2023年度実績で売上高は13兆208億円に達している他、11万3000名の従業員を抱えているといったソニーの基本状況について詳しい紹介があった。その後は質疑応答となり、ソニーとしては社員が学び応用していくことで挑戦し続けることを重視している、事業開発担当者はチームワークや実務経験を通じて新しい試みをし続け、失敗を恐れずに試行錯誤しポジティブさを持ち続ける必要があるといった点について知ることができた。最後にソニーのショールームを見学し、設立当初の電気製品からゲーム、音楽、映画などエンターテインメント事業を含む現在のソニーを体験することができた。また様々な先進的設備や技術の進化までを目の当たりにし、ハイテクノロジーと知識の融合がもたらす力を強く感じることもできた。



ご存じですか？

問：ソニーが社員に求める重要な要素は何か？

答：ソニーは多面的な事業を有しており、異なるポジションでは求める要素もそれぞれ違う。共通しているのは、いかに仕事経験から学び、その学んだエッセンスや考え方を他の業務に応用していくのが大切である。なぜならソニーは発展のプロセスにおいて事業分野を拡大し続けており、社員は学び、応用することで常に創造することが求められるからである。

問：ソニーの事業開発担当者の業務はどのようにスタートするのか？

答：事業開発担当者は一般的にチームワークや実務経験を通じて全体のプロセスを学び理解する必要がある。イノベーションによる発展を続けてきたソニーの歩みにおいて、新事業の1つひとつが新たな挑戦であり、開発担当者らは基礎から段階的に革新性を備えた成果を挙げていく。

感想

ソニーの発展の歩みや経営理念には多くを考えさせられた。設立時のモットーを長年守り、絶えず発展し、ハードウェア分野から多様な分野へ拡大発展する、こうしたイノベーションや卓越した追求には感服させられた。そしてショールームの見学の際には製品や技術の進化を目にし、ハイテクノロジーの背後にあるのは弛まぬ学習、イノベーションそして実践であることを知った。また社員の学習能力への重視からも、急速に発展している現在においては、自身の学習能力を高め続け、学んだ知識を実務に応用することでのみ将来的なキャリアにおいて立脚できることを知った。こ

れにより私たちは専門知識の学習に努め、実習の機会を積極的に模索し実務経験を増やすとの決心が今まで以上に固まった。いつか、ソニーのようなイノベーションそして活力に満ちた企業で自身の価値を発揮できることを願っている。それと同時に、試行錯誤に伴う高いコストと前向きに向き合うソニーの姿勢もまた、目標を追求する上で挫折は付きものであり、重要なのはポジティブさを持ち続け勇敢に進んでいくことであるとの点を私たちに告げていた。